

多くの人を惹きつけるギャッベ その織り手「カシュガイ族」とは・・・

大自然の山岳地帯で遊牧生活を送るカシュガイ族の人々。厳しい環境の中で身を守るため、カシュガイ族の女性達が羊毛で織る毛足が長い絨毯を総称し「ギャッベ」といいます。春に刈り取った羊毛を手で紡ぎ、草や果実など、全てを草木で染め上げます。古代より受け継がれる文様や、大自然の中で感じ取った空想の絵柄を、数ヶ月～数年かけ、一本一本丁寧に結んでいきます。

カシュガイ族の自然を思うところ・・・

家族を大切に願う気持ち・・・

感性豊かな色彩感覚が、デザインに生かされています。



世界無形文化遺産

イラン南西部ファールス地方で暮らす遊牧民が織る絨毯技術は無形文化遺産に登録されています



最高峰ブランドと称される ゾランヴァリ社のギャッベとは？

1956年、伝統的ペルシャ絨毯を最高級と位置づけるイランにおいて、「商品価値の無い絨毯」という扱いを受けていた「ギャッベ」。その素朴さとアート性に魅かれヨーロッパから世界へ広めた「ギャッベの育ての親」と呼ばれるのがゴラムレザ・ゾランヴァリです。

すべて草木染め 空想の図柄を手で結ぶ

当時、安易に色鮮やかで、きれいな色に染められる化学染料が人気を浴び、多くの遊牧民が化学染料を使い始めていました。しかし、このままではヨーロッパの人々に飽きられる事をいち早く感じていたゾランヴァリ氏は、草木染めの大切さを説き、賛同した遊牧民と契約を結び、みずから草木染めを管理しました。



笑顔がこぼれる 素敵な絨毯

夢や希望、家族の思いをこめて作られたギャッベ。色とりどりのギャッベは選ぶだけでも楽しくなります。お客様の「これにして良かった!」。そんな嬉しい声を聞くため私たちも素敵なギャッベをご用意します。



2010年より商標登録されたゾランヴァリ社のロゴマークが入っていますので、裏面もチェックしてください。



ASOシルクロードギャッベ